★ ――――――――――――――――――――――――――――――――――― ★

☆☆★　　いわて マナビィ マガジン　　★☆☆

☆★　　No.111　　2016. 5.13.　　★☆

★ ――――――――――――――――――――――――――――――――――― ★

**********　ＩＮＤＥＸ　**********

１．センター便り　　『生涯学習と社会教育の違いは？』
２．教振なう！　　『新年度のスタートにあたり・・・』
３．編集後記　　～ピエロが行く！～

★ ――――――――――――――――――――――――――――――――――― ★

１．センター便り　　『生涯学習と社会教育の違いは？』

★ ――――――――――――――――――――――――――――――――――― ★

新年度も１ヶ月半が過ぎ、市町村教育委員会及び生涯学習担当部局においては、様々な生涯学習・社会教育事業が展開されてきていることと思います。当推進センターにおいても、昨日より「新任社会教育関係職員研修講座」が始まり、今年度から市町村の生涯学習・社会教育を推進する部署に配属された皆様が研修に励んでいるところです。

そこで、突然ですが「生涯学習と社会教育の違い」は何でしょう？

「社会教育」の主体は“支援者・教育者”

〇いつから；１９４９年の社会教育法で定義されました。以来、日本の戦後復興や地域づくりを支えてきました。ねらいの達成のために意図的・計画的・組織的に行います。

〇定　　義；学校の教育課程として行われる教育活動以外の組織的な教育活動のこと。（社会教育法第２条）

「生涯学習」の主体は“学習者”

〇いつから；１９８１年の中央教育審議会で定義されました。高度経済成長を経て豊かな社会となる中で、個人の学びを保障する体制の整備が進められました。

〇定　　義；自己の充実・啓発や生活の向上のために、各人が自発的意志に基づいて、必要に応じ、自己に適した手段・方法を自ら選んで生涯を通じて行う学習活動のこと。

社会教育行政や公民館・市民センター等の職員は、住民の“支援者”です。個人の学びである「生涯学習（趣味・教養)」だけではなく、地域課題を把握して改善にあたる「社会教育（地域づくり)」が必要となります。自分のために個々が行う学び（生涯学習）の環境を整え、学んだ知識・技能を地域の中で活かしながら望ましい地域づくり（社会教育）にあたる「知の循環型社会」を目指していきましょう。

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

２．教振なう！　『新年度のスタートにあたり・・・』

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

（教ちゃん）みなさ～ん。教育振興運動のマスコットアイドル・・・。

（振ちゃん）教ちゃん、もうやめよう。その出だし３回目だよ。

（教ちゃん）・・・。

（振ちゃん）新年度が始まり、市町村の教育振興運動もスタートだね

（教ちゃん）昨年度の成果と課題を踏まえ、新たな目標に向かって５者（子ども・家庭・学校・地域・行政）がすべき役割を確認するところから始まるのよね。

（振ちゃん）そうだね。例えば全県共通課題「情報メディアとの上手なつきあい方」を考えたときは、こんな感じかな。

【子ども】自分たちのこととして考え、望ましい生活のあり方を話し合う（ルールを決める）。バーチャル（ゲームやネット内の人間関係）よりも楽しいことを体験したり、挑戦したりする。

【家　庭】「家庭教育学級」を開催し、子どもの望ましい生活のあり方や人としての生き方を学ぶとともに、子どもがルールを守れるように支える。

【学　校】児童生徒の実態を把握し、児童会・生徒会で望ましい生活についての話し合いを支援し、全校児童生徒が守るルールを決める。学校の自治活動として守っていくことを支援する。

【地　域】バーチャル（ゲームやネット内の人間関係）より、リアル（体験・交流）の方が楽しいことを子どもたちが実感できる事業を実施する。

【行　政】市町村全域の取組状況を把握するとともに、各学校・実践区の取組を市町村全域に紹介する広報活動や集約大会を実施する。

（教ちゃん）そうね。今日の振ちゃん、とっても頼もしいわ。「教育振興運動市町村担当者研修会」に出席したから・・・かしら。

（振ちゃん）宮城教育大学教授の鵜川義弘先生の講話は、聞いている人に迫ってくるものがあったよ。宮古市教育委員会、岩手県青少年育成県民会議、生涯学習推進センターの取組紹介も良かったな。鵜川先生も助言で取組の素晴らしさを褒めていたよ。

（教ちゃん）取組と言えば、県内の実践事例集を「まなびネットいわて」に掲載しているので、皆さん是非参考にして下さいね。

★全県共通課題『情報メディアとの上手なつきあい方』実践事例集はこちら。

⇒ http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/28_gokanenjireisyu.pdf

（振ちゃん）そうだね。岩手の子どもたちのため、地域のためだもんね。

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

３．編集後記　　～ピエロが行く！～

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

今年の岩手県のＧＷは、天候に恵まれませんでした。庭の草取りと畑の準備をしようと、今年のＧＷは何も予定を入れていなかったのに・・・。庭の草取りは半分だけ、畑の土づくりも不十分です。野菜の苗を植えるまで、あとどれくらいかかるでしょう？

何事も準備が大事。それは畑づくりでも同じこと。あわてず、丁寧にやっていくことにします。明日（土曜日）は読み聞かせの訪問、明後日（日曜日）は「岩手山ろくファミリーマラソン大会（雫石町）」と、また週末遊びに出てしまいますので気長に考えています。

マラソンは、今年度は毎月 10Km の部で完走することを目標に、４月の「イーハトーブ花巻ハーフマラソン」、５月の「岩手山ろくファミリーマラソン大会（雫石町）」、６月の「金ケ崎マラソン」、７月の「岩手山焼マラソン（八幡平市）」に出場します。

地域の皆さんの声援や市町村の風景、雰囲気を味わいながら、のんびりと走ることを楽しみたいと思っています。

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

このメールマガジンは、県内小中学校、社会教育関係者及び生涯学習・ 社会教育に関心を持たれている登録者の皆様に無料で配信しています。 ご意見・ご感想、登録・登録解除は下記アドレスにご連絡ください。 ⇒　E-mail；atu-satou@pref.iwate.jp
メルマガのバックナンバーをセンターＨＰ「まなびネットいわて」で閲覧できます。⇒　http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/
左下の「発行物・刊行物」＞「いわてマナビィマガジン」をクリック

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

発　行：岩手県立生涯学習推進センター　（花巻市北湯口 2-82-13）
編　集：佐　藤　敦　士